

事業結果要約報告書

受付番号

2024 KJ-026

－科学技術振興関係－

公益財団法人 **マツダ財団** 御中

令和7年2月6日

所属機関名 徳山工業高等専門学校
申請代表者
役 職 准教授
フリガナ ミヤザキ リョウイチ
氏 名 宮崎 亮一 印
(TEL :)

マツダ財団から受けた 助成金 105千円 による事業結果について、
次のとおり報告します。

助成事業名 まるごと徳山高専2024～子供たちの「心」を育むモノづくりワークショップ～
(事業期間：2024年8月10日～2024年8月10日)

	計 画	実 施 結 果
事 業 内 容	日時：2024年8月10日（土） 10：30～16：30 場所：周南市徳山駅前賑わい交流施設 交流室1, 2 対象：周南市および近隣地域の小学生、幼児、児童およびその保護者 定員：定員8名×3学科×9回（複数参加あり） 内容：機械電気・情報電子・土木建築分野で、それぞれの分野のモノづくりを体験できるワークショップ	日時：2024年8月10日（土） 10：30～16：30 場所：周南市徳山駅前賑わい交流施設 交流室1, 2 対象：周南市および近隣地域の小学生、幼児、児童およびその保護者 参加者（人） 高専教職員：5人、補助学生：22人 ワークショップ参加の生徒・幼児・児童：92人 内容：機械電気・情報電子・土木建築分野で、それぞれの分野のモノづくりを体験できるワークショップ

事業の目的・ねらい

徳山高専の機械電気・情報電子・土木建築の各分野のモノづくり・科学を一度に体験できるワークショップを開催することで、子供たちに新たな学びの機会を提供し、子どもたちの「好奇心・探究心・探求心」を育むことを目的とする。

事業の概要

機械電気・情報電子・土木建築分野で、それぞれの分野のモノづくりを体験できる以下の予約制のワークショップと、自由に見学・体験できる学校・学科紹介ブースを準備した。ワークショップは15分程度で完了できる企画とし、参加者は1時間程度で徳山高専における3つのモノづくりをまるごと体験できるような構成とした。最終的に約140人の子どもたちが参加した。

（ワークショップの内容）※全て定員8名×9回

- ・流体で動くミニアームを作ろう！（機械電気分野）
- ・シャカシャカ発電を作ろう！（情報電子分野）
- ・筋交い実感ミニシェルフを作ろう！（土木建築分野）

また、高専ロボコン、高専プロコン、高専デザコンで過去に活躍した展示も行った。

【実施方法】

- ・日時：2024年8月10日（土）10:30～16:30
- ・場所：周南市徳山駅前賑わい交流施設 交流室1, 2
- ・対象：周南市および近隣地域の小学生、幼児、児童およびその保護者
- ・参加費：無料
- ・申込み方法：オンラインフォーム（各ワークショップの各時間の定員は8名）、満席ではない場合は当日受付

成果・効果

「地域住民（子どもたち）の人づくり」に関しては、各ワークショップでの体験を通じて子どもたちが興味を持ち、自ら考えるきっかけを作るよう意識して取り組んだ。その結果、「これはどうやって動いているのかな？」といった好奇心や探究心が引き出される場面や、「色が変わってすごくきれい！」と感動する姿が見られ、子どもたち自身が内に秘めていた興味や関心に気づく機会となった。また、「地域住民（子どもたち）の育成」という目的においても、ワークショップを工夫することで子どもたちが楽しみながら学べる場を提供できた。「これはどうやって動いているの？」という疑問を自然と抱くような体験や感性を揺さぶるような仕掛けを通じて、子どもたちの中に眠る好奇心を引き出すことができた。

一方、「徳山高専に在籍する学生の成長」という点では、彼らがワークショップをサポートする中で教えるという立場を通じて新たな学びを得られたことが挙げられる。普段とは異なる角度から知識を捉えることで、理解が一層深まり、成長する姿が見られた。また、地域の子どもたちとの交流を通じて、社会的な視点や責任感が育まれたと感じる。

※ 3ページ以降も自由に追加いただいて結構です。

※この「事業結果要約報告書」（Word）、デジカメ写真の画像（.jpegなどで、解像度を下げていないもの）を、CD-R等に入れてご提供いただければ幸いです。
※みなさまの活動を「事業結果要約報告書」や「マツダ財団ホームページ」で、写真も含めてご紹介したいと思っております。写真撮影の際には、参加者の皆様にもその旨了解を得ておいてください。

写真、図 (4点程度。写真や図にはタイトルをご記入ください。)



図 1 流体で動くミニアームを作ろう！



図 4 ロボットの展示



図 2 シャカシャカ発電を作ろう！



図 3 筋交い実感ミニシェルフを作ろう！